

令和7年度 第1回公立学校共済組合岩手支部運営審議会議事録（要旨）

1 日時 令和7年6月12日（木） 10:15～11:15

2 場所 サンセール盛岡 「桐華」

3 出席者

（1）運営審議会委員（10名）及び監査員（1名）

小 田	美香子	委員	
北 田	義 徳	委員	（代理出席 三田 正巳）
駒 込	武 志	委員	
佐 藤	工	委員	
神久保	貴 幸	委員	
高 橋	克 典	委員	
廣 澤	正 紀	委員	
村 上	智加子	委員	
村 田	浩 隆	委員	
柳 田	陽 一	委員	
高 橋	輝 久	監査員	

（2）支部職員及び盛岡宿泊所職員（15名）

佐 藤	一 男	支部長
菊 地	亮 弘	副支部長
羽 柴	典 光	事務局長
高 橋	茂 樹	盛岡宿泊所支配人

（ほか支部職員9名、盛岡宿泊所職員2名）

4 会議次第

（1）開会（出席委員の報告、委員9名（代理出席1名）監査員1名）

（2）支部長挨拶

（3）委員等紹介

（4）会長等選出

（5）会長あいさつ

（6）議事

議案第1号 令和6年度公立学校共済組合岩手支部決算について

議案第2号 令和6年度公立学校共済組合盛岡宿泊所決算

（7）その他

（8）閉会

5 議事録 (10 : 15)

(1) 支部長挨拶 (要旨)

本日は、お忙しい中運営審議会に出席いただき感謝申し上げます。日頃当公立学校共済組合の運営に際してのご理解とご協力に感謝申し上げます。また、今回の委員の改選にあたり委員就任を快く引き受けていただき重ねて御礼申し上げます。

公立学校共済組合においては、歴史的な物価高騰など、共済組合を取り巻く環境変化に対応するため組織改編を行い、特に重点を置き進める取組の一つとしてメンタルヘルス対策の強化などを進めているところである。

支出については、高齢化や医療技術の進展による医療費給付が増大しており、限られた財源の中で、これまで以上に効果的で効率的な事業運営に取り組まなければならない状況となっている。

このような状況を踏まえ、当支部においては、昨年度の保健事業について、組合員の健康の保持増進及び疾病予防を図る観点から、特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上に努めている。また、広く生活習慣病予防の意識啓発を図るため、WEB を活用した事業の実施や、若年層を対象としたヘルスサポート事業を実施するなど、病気の早期発見、早期治療、重症化予防に取り組んでいる。

また、メンタルヘルス対策においては、一次から三次までの段階的な予防策を継続するとともに、保健師による巡回相談や専門医による相談窓口を設置するなど、相談体制の充実を図ってきたところである。

盛岡宿泊所については、組合員の皆様から多大な支援を頂いているところであるが、コロナ禍前の状況に未だ回復しておらず、物価上昇による食材や光熱費等の値上げの影響もあり、依然として厳しい状況が続いている。

今後においても、安全・安心な施設、心温まる優良なサービスを提供する施設として、一層のサービス向上に向け、支配人を中心に支部と施設が力を合わせて経営改善に努める。

本日の審議会においては、令和6年度の岩手支部並びに盛岡宿泊所の決算についてお諮りする。忌憚のないご意見を頂戴し、よろしく審議いただくとともに、原案を承認いただくようお願いする。

以上簡単ではあるが、開会にあたっての挨拶とする。

(2) 会長等選出

今回は、新たな任期となるため、会長には岩手県中学校長会 廣澤正紀委員、会長職務代理者に岩手県教職員組合 佐藤工委員が選任された。

○会長 長 廣澤 正紀 委員 (県中学校長会 副会長)

○会長職務代理者 佐藤 工 委員 (県教職員組合 中央執行委員長)

(3) 【会長あいさつ】

会長を仰せつかった、どうぞよろしくお願いします。本日は、組合運営についての話し合いとなる。公立共済組合の維持発展のためにスムーズな進行にご協力をお願いしたい。

(4) 議事

次の2議案について、一括提案を行った。

【議案第1号】令和6年度公立学校共済組合岩手支部決算について

資料に基づき、事務局長が説明した。

厚生事業のうち、特定保健指導、人間ドック、脳ドック、メンタルサポート及び宿泊施

設利用補助事業について次のとおり説明した

- ・ 特定保健指導について、実施者数は1,645名で、対前年度556名増であった。
- ・ 人間ドック、脳ドックについては申し込みが毎年多い。組合員のニーズに応えられるよう、各病院の定数の確保に努めているところ。今後も受け入れ可能な病院の確保、拡充に努めていきたい。
- ・ メンタルヘルスサポートについては、引き続き健康管理事業の充実等に向け取り組んでいく。
- ・ 宿泊施設用補助について、宿泊補助、会食等補助については、利用者、補助額とも減となっている。利用補助額及び利用回数に上限が設けられたことによる影響があったと考えられる。引き続き支配人を中心に支部、施設連携し経営改善に努めていくので支援をお願いしたい。

【議題第2号】令和6年度公立学校共済組合盛岡宿泊所決算について

資料に基づき、支配人が説明した。

【監査報告】

監査報告書のとおり監査員から報告した。

―意見・質疑―

[委員]

14頁の「5 メンタルヘルスサポート」の(2)若年層のヘルスサポートについて質問である。説明では35歳の人間ドックの後に対象者に行っているとのことであった。対象者とは、メンタルヘルスが良好ではない者ということか。

[事務局長]

35歳は指定年齢人間ドックを受診いただくこととしており、令和6年度は251名の対象者に対し、希望者は198名で約93%。受診者は186名という結果であった。その中のいわゆるメタボの数値に該当する人が「(2)若年層のヘルスサポート」の対象である。特定保健指導と同じ内容の指導を受けた方が4名という結果であった。

[委員]

メンタルヘルスのサポートではなくて、身体サポートであるということで理解した。

[委員]

ドック事業に関連して意見である。人間ドック、脳ドックについては可能な限り受診できるよう、以前から病院の数を増やしてほしいと要望しており、対応いただいていることは感謝している。予約をしてもその日に受けることができなかった人が毎年いる。現在、どれくらいの数であるとか、そのような状況の増減、人間ドックの需要と供給の状況を確認したい。

[事務局長]

人間ドックと脳ドックどちらも、定員に対して希望者は毎年2倍程度の申込があり、定員により決定しているものである。決定者のキャンセルはもちろんあり、昨年度の受診率は人間ドック96.6%と脳ドック98.9%となっている。日程の調整がつかなかった方や、体調不良等があったようである。

[委員]

会計年度任用職員が共済組合員への加入となったことでどのような影響があったのか教えてほしい。

[事務局長]

会計年度任用職員の共済組合の加入について、組合員資格は「短期組合員」というところである。「短期」事業の適用職員となる部分となる。令和4年10月からの改正によるものだが、当時から「人数の増加は見込めるが、掛金金額は標準報酬月額が低い方であるため、掛金収入が減少すること」が見込まれており、当時は改正に合わせて掛金率負担率の増加を本部において決定したようである。現在、本部支部ともに分析に至っていない。状況としては保険給付があまりにも大きく増加しすぎているということはないものと捉えており、支部としては、医療費の増加と加入者数の関連について厳密な分析には至っていない。

[委員]

教職員互助会では会計年度任用職員を含んでいない状況である。相互扶助の考えに基づき互助会においても、会計年度任用職員を入れるべきと自身は考え発言しているところである。互助会事務局としては、「収入に対する支出の増加」を懸念しており、加入させていない状況である。今年度の互助会の会議においても再度検討してほしいと伝えたところであるが、収支の部分で公立学校共済組合がどのような状況であるかが参考となるものと思い確認した。本部だけではなく、支部の状況も計算できるのではないかと思いますので、そのあたりの計算分析をお願いします。

宿泊、会食と会議利用の減少の理由分析では利用回数の上限が設けられたことが挙げられたが、自身もそれも一つと考える。それに関り会計監査報告にある通り利用補助の上限の引き上げや手続きの簡素化の検討を望むとの報告について賛同する。本部に岩手の現状を伝え、「全国一律に規制をかけない」ことを意見していただいたと聞いているところである。サンセールの経営改善に向けて必要だと思うところ、ぜひとも願います。

[事務局長]

施設利用補助の回数についてもこれまでも意見を頂いているところであり、岩手県が広域にわたる特性もあり、盛岡周辺は会食利用、その他の地区としては宿泊利用が多くなるという利用の差異を説明し、利用回数の改正など要望してきた。利用回数制限については引き続き本部へ改善をお願いしていきたい。

[委員]

委員と同じ意見である。宿泊12回、会食12回となるが、会食だけでもかなりの回数を超えて利用している。利用回数の増が一番の希望ではあるが、せめて宿泊と会食の利用回数それぞれ12回12回であるものを、上限24回で本人の希望で振り分けできるよう強く要望したい。

[議長]

宿泊会議宴会利用促進について我々が協力できるところはないか、特に力を入れたいところなどあるか伺いたい。

[事務局長]

宿泊はコロナ禍前に回復しつつある。利用はある程度戻ってきているが、支配人の説明で出た通り収支計上では赤字となっている。支部としては、施設の売上げ向上に向け、コロナ禍前に利用いただいていた方でコロナ禍後利用がなくなった方を洗い出し、再度利用いただけるよう営業を行うなどしたいと考えている。今後施設と支部とで経営改善案を検討していくところである。組合員のみならず地域、児童生徒の企画、婚礼や結婚披露宴等ではなく家族の宴会などへシフトしていくようにパンフレット等を作成し周知して進めていきたいと考えている。

[副支部長]

報告では、会議も昨年度減の報告がなされていた。これについては、県教委の中でも一つの流れで「会議はオンラインでよいのでは」という流れがある程度ある。一方で、なんでもオンラインでよいものではなく、対面での会議の意義があるものもある。主催者において会議を見極めて、対面の必要があるものはぜひサンセールでの会議室利用をお勧めしたい。ただただオンラインでやればよいとせずに、対面での開催となるものがあればそこを主催者は見極めて会議開催の整理をしていただいて、その際に利用できる施設としてのサンセール会議室利用を行っていることを引き続きお知らせしていきたい。

[議長]

全日本中学校長会が行われたが、参集型の会議の良さをつくづく感じたものである。今の話を受け、会議の利用促進を進めていけたらと思う。よろしくお願いします。

[委員]

関連して、議案第2号についてである。決算総括で「開催地の変更など、顧客の動向が変化した」とあるが、その点について対面会議のことなのか、どのようなことなのかもう少し説明が欲しい。

[総務部長]

顧客の動向の変化については、組合員関係での会議の開催地が盛岡で行っていたものが、それぞれのもともとの開催地を宮古などへ戻したということがあった。オンラインでの会場としてサンセールの会議室を使って現地とつなぐこともあったが、開催場所それぞれで行い現地での対面会議が行われたためサンセール会議室利用がなくなったことも挙げられる。コロナ禍でオンライン開催のために私どもとしては、会議室利用が増えた感覚もあったのだが、コロナ終息により対面式に戻したことにより減少したところも感じている。

[委員]

人間ドック脳ドックについて定員の2倍の希望者があるとの説明があった。人間ドック、脳ドックの重要性が高いと思う。受診率、実施率の向上を求める。

希望者のうち受診できなかった人の以降の動向や、サポートはどのようになっているか。受診できなかったときは、補助を受ける等、なにかサポートはあるものか確認したい。

[事務局長]

人間ドック、脳ドックは2年に1度応募可能であり、日程が決まっている部分は希望者が殺到している印象があるが、希望者が少ない日程等もある。決定した後同じく2年後に応募された際などはこちらで受診歴を確認し該当者を決定しており、公平になるように努めている。人気のあるものは確かに受かりづらい状況ではある。受診の数、予算の兼ね合いを含め医療機関の数の拡大に努めているところ。受けられなかった方への補助事業は現在設けていないが、今回の意見として何かできるか検討していきたいと考える。何より、人間ドック脳ドックの枠を増やせるよう医療機関の拡充を第一に行いたい。盛岡地域に集中しているので沿岸地区でのドック受入れ可能の医療機関等の情報があれば、教えていただきたい。こちらでも医療機関の新規開拓を行う。

[委員]

サンセールの「客室稼働率何%だと黒字化が見込める」など、稼働率についての分析想定はされているか。

[総務部長]

宿泊は7割稼働率を目指していきたい。会議は37%であった。宴会については現在2割なので、少し難しいと見込んでいるが、稼働率については3割4割を想定している。稼働率3割4割行けば、コロナ前の売上年間2億に近づくはずである。そこまで戻せば単価が上がってきているため、黒字に容易にできる見通しではあるが、現在の2割からそこまで10%の増加は相当厳しいものである。宴会は5パーセントの増加を目標としているもの。

[委員]

自身が監査員8年、審議会委員4年目であり、共済組合の決算をずっと見させてもらっているところ。今年の決算は非常に厳しい、厳しいだと一般的な言葉なのではっきり言うことやばいと思う。

特に、宴会に関しては、盛岡地域近郊の学校ではたくさん使っていただきたい。学校でも現状を理解していただいて話を広げていただければと思う。教職員はお客さんではなく、サンセールを我々が運営しているということを職場で広めていただきたい。

[議長]

近郊の学校での利用促進をお願いしたい。

—議案について、一括して承認の可否を諮った—

2議案は異義なく承認された。

【その他】

なし

(5) その他

事務局から1点案内する。

今年度第2回運営審議会について令和8年2月10日火曜日13時30分から開催を予定している。ご承知おきいただくようお願いする。

(6) 閉会 (11:15)